

実践的なキャリア教育の推進について

取組事例

【小学校】

○職場見学実施率 令和元年度 100%

【中学校】

○職場体験実施率 令和元年度 96.6%

○キャリア教育・進路指導研究協議会(各教育事務所で開催)

- ・各校の実践について情報共有や意見交換を実施
- ・好事例の共有「キャリアパスポートの活用事例」「進路相談の手法」
「キャリアプランニング能力向上の手立て」

【特別支援学校】

- 産業等現場実習の実施
- 清掃検定、パソコン検定、接客サービス検定の実施

【高等学校】

○インターンシップ支援

千葉労働局と連携し、インターンシップの受入れや職業講話の実施が可能な事業所の情報を収集し、学校へ提供

○インターンシップ実施率 令和元年度 89.6%(公立高校全日制)

○「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」「アグリサポーターズちば」を通じて、産官学が連携した取組を実施

○就職支援

ジョブサポートティーチャーの配置、企業訪問の旅費等の補助

○商工労働部との連携による県内企業との就職情報交換会
6月25日開催 公立15校・私立2校・県内企業38社が参加

課題と今後の方向性

(課題)

- 将来の進路選択につながるインターンシップが充分でない
- 若手教員の増加による、教員のキャリア教育に関する理解不足、経験不足
- 情報化、高齢化等の社会の変化に対応したキャリア教育の実践が充分でない
- 児童生徒が教科等で学んだことを生かし、主体的に職業を選択する力の育成

【今後の方向性】

- 労働市場を踏まえた人材の育成
- 教員研修の充実
- 専門高校や職業系専門学科での体験活動など、高校による小中学校のキャリア教育への支援と普通科高校におけるキャリア教育の更なる充実
- キャリア教育の手引きの改訂による、各教科等におけるキャリア教育の充実